

地域ボランティア活動活性化事業
富津警察署

～外国人合同パトロールの巻～
ニンニン…

そもそも富津市とは…

人口…３９，１２２人（令和８年７月末）

名所…鋸山、東京湾観音、マザー牧場etc

由来…古い湊を意味する「**古津（ふるつ）**」が変化した説や、日本武尊（やまとたけるのみこと）とその妻、弟橘媛（おとたちばなひめ）の伝説で、布を流した「**布流津（ふるつ）**」から来ている説がある

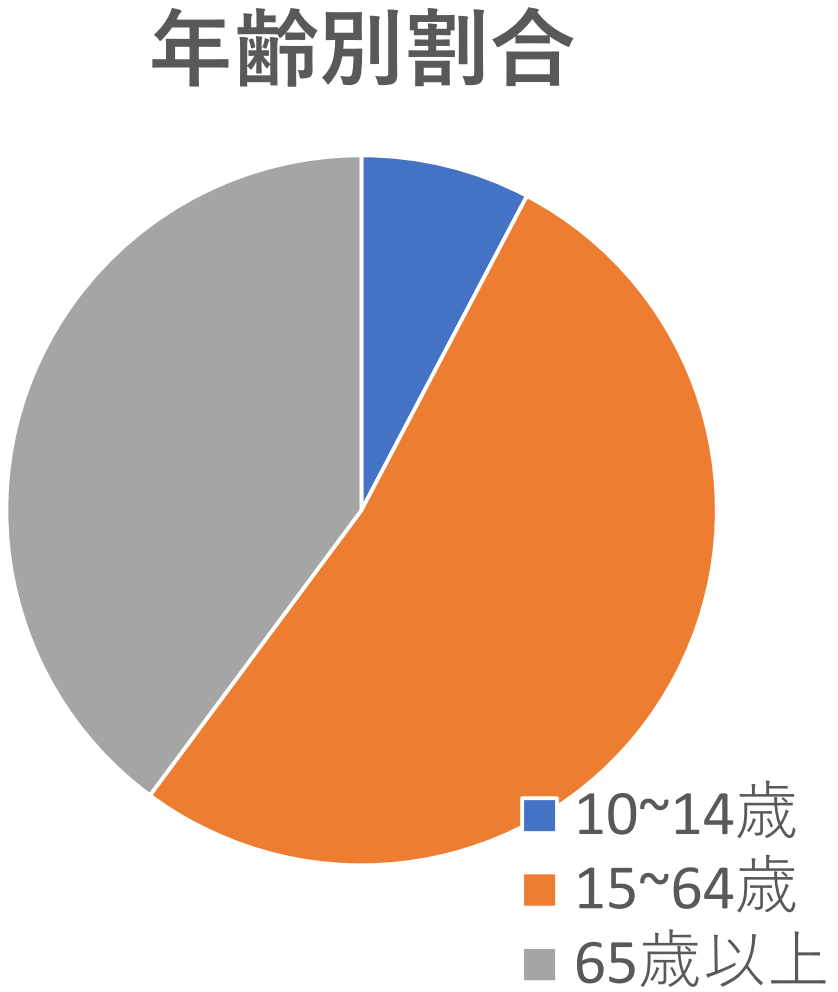


弟橘媛（日本武尊の妃）の像（岩瀬海岸）

そもそも富津市とは…Part2

- 居住年代割合

0~14歳	7.7%
15~64歳	52.4%
65歳以上	39.8%



昭和60年をピークに人口減少が続いてる…

ちなみに…

3万3500人！！！

この数とはなんでしょうか…

正解は…

令和7年7月7日
マルハン新宿東宝ビル店
の抽選予約人数…

※富津市民の約90%に
相当！！！

そもそも富津市とは…Part3

市の花　…つつじ

市の木　…桜

富津市のおもてなしキャラクター

「**ふっつん**」

「ふっつん」について

両手を広げ迎え入れる様相から
「おもてなし」
の姿を重ね合わせ、
頭に富津岬を…
円右側には長い海岸線を…
市の花である桜を頭に飾る…

市民の憩いのキャラクターである。



白鳥「暑いんでふっつんの中の人も休みながら
　　やってくださいね。(^。^)/」
市役所「は…(゜。゜)？」
白鳥「あ、ですから…」
市役所「ふっつん…中の人とかいないですよ？」
白鳥「はっ！！」
市役所「ふっつんはふっつんなんで…」
白鳥「！！！！！」

**　ミステリアスな魅力で我々を魅了する**
キャラクター「ふっつん」
**　お問い合わせ先は富津市役所まで！！！！！！**
代表Tell　0439－80－1222

自動販売機の脇でたたずむふっつん



そもそも富津市とは…Part4

管内の治安状況（令和8年7月末）

刑法犯認知件数
137件（県下39署中34位）

電話de詐欺発生件数　2件

県下でも有数の犯罪の少ない地域！



地域防犯ボランティア活性化事業について



ことの始まりは…

令和7年度地域防犯ボランティア活動活性化事業

「持続可能な防犯ボランティア活動に向けた更なる支援の推進事業」において

支援対象の市町村

野田署、**富津署**、いすみ署、旭署、山武署、流山署管内の市町村が指定

地域防犯ボランティア活動活性化事業

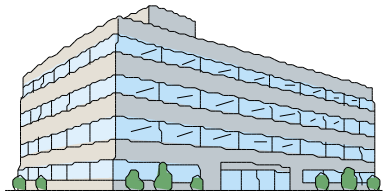
事業概要

地域の防犯力を高めるため、各地域の自主防犯団体が抱えている課題を踏まえ、地区防犯協会や市町村などの関係機関とともに防犯啓発イベントを企画し、様々な団体や幅広い世代の住民等をイベントに参加するよう促す。

事業内容

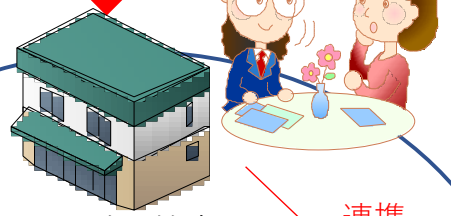
千葉県防犯協会が地区防犯協会等と連携して以下の取組を推進する。
①地域の関係団体の意見を聞きながら、防犯ボランティア団体、関係団体、一般県民などが、地域が一体となって参加できるボランティア活動等のイベントの企画を定期的に行う。
②イベントの参加にあたって、活動が低迷している団体に対して、戸別訪問を実施して参加を呼びかける。
③相談窓口を設置して、地域内の各団体に周知することで、ボランティア団体からの個別の相談にも応じる。
④上記の取組について、地区防犯協会等が地域の繋がりの担い手となるよう事業を引き継ぐとともに、県内の関係団体にも取組を周知して、各地域で取組が促進されるよう働き掛けを行う。
※県防犯協会から3ヶ月ごとに報告し、事業効果を検証する。

＜委託想定先＞(公社)千葉県防犯協会
＜委託期間＞　令和7年10月1日～令和10年3月末(予定)
＜支援対象＞　構成員数の減少又は活動日数が低い地区



千葉県防犯協会

コーディネーターを派遣して地域のネットワーク構築を支援

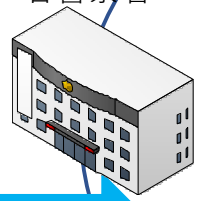


地区防犯協会

連携

連携

各警察署



市役所



個別課題の把握



防犯指導員
(ボランティアリーダー)

個別課題に対する支援



防犯ボランティア

地域ネットワークの構築

側面支援

側面支援

警察署としての支援



犯罪情報の提供



防犯教室



合同パトロール

市役所としての支援



防犯資機材の貸付



青パト走行



合同パトロール

＜課題＞
ボランティア団体に対する支援については、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもとボランティア団体の自主性を重んじ、地区防犯協会、警察署、市町村等の各関係団体は側面支援に重点をおいて支援してきた。そのため、受動的・画一的な支援に止まっており、各団体が抱える課題に着目した支援ができていない。

＜実務の進め方＞
①地域の中核となる防犯ボランティア団体、地区防犯協会、警察署及び市町村による意見交換会を開催し、ボランティ団体から課題及び意見を聴取し、彼らの課題に対応したイベントを団体の意向を踏まえて企画する。
②地域の中で発案されたイベントに対して、その実現を図るため、日時場所などを協議し、イベントの目処が立ったら、広報や関係機関への戸別訪問などを行う。
③イベントで参加した関係団体にアンケートなどを実施して課題や意見を把握し、個別相談における対応も踏まえて、次回のイベントを協議する。
④イベントが地域で定着したら、他の地域でも同様の支援を行うと同時に、関係団体に取組を周知して、各地域で取組が促進されるように働き掛ける。

※企画内容は地域のボランティア団体の意見を聞きながら、地域の状況に応じて検討するが、以下のような事例が考えられる。
・外国人の技能実習生との合同パトロール、自主防犯団体同士の活動にかかる意見交換会、地域の産業祭り等の場における住民への「ながら防犯」等の広報啓発、学校内における食を通じた子育て世帯に対する交流と防犯への意識付け、学校のPTAや自治会等に対する防犯パトロールにかかる現状の説明会の開催、地元企業のCSR活動と連携した住民への防犯意識の向上イベント、SNSや広報紙等によるボランティア活動の魅力発信など

時の生活安全課長は考えた…

係長も考えた…

県警本部も考えた…

巡査でさも考えた…

※ちなみ私は当時いなかったので何も考えていません…(^^)/

とりあえず
会議だ！！！

緊急決定！！

令和7年7月31日　於富津警察署

地域防犯ボランティア活性化事業打合せ会議

参加団体　富津警察署

千葉県警察本部生活安全総務課

千葉県防犯協会

富津市役所防災安全課

大堀二区　区長

青木区　区長

地元対策連絡協議会　会長



会議では様々な意見が出た…

自転車の違反を目撃した場合は？

効果的なパトロール方法は？

多くの質問の中、特に気になったのが…

管内に住む外国人稼働者のゴミ捨て場のルールが徹底されていないこと…

そのうえ…

外国人ということもあり注意が難しい…

さらに言えば…

技能実習先の会社に言ってもなかなか対応してもらえない…

ちなみに…

日本と海外のゴミ捨てルールを比べてみると…



日本

○**「可燃ごみ」「不燃ゴミ」「資源ごみ」「粗大ごみ」**に別れ、**「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」**に基づき、各市町村が地域にあわせて定めている。

　各地域ごとにルールが違うのは、焼却施設の性能と財政状況によるほか、多くの自治体によって導入されている「指定ごみ袋制度」は排出者が処理費用を負担する「排出者負担の原則」に基づき、**ゴミ減量への意識を高めている**。

海外の場合…



例：**アメリカ**

自由の国

ルールは地域によって大きく異なり、民間企業が廃棄物管理を担っている。

「シングルストリーム」といって、新聞紙、段ボール、アルミ缶、ペットボトルなど、リサイクル可能な資源を分別せず、全て同じ収集箱に入れる方式を用いている。

ドイツ（別名：環境先進国）

　徹底したゴミの分別と、製品責任という独特の理論に基づく。

　廃棄物を「資源」として捉えている。

　黒（残余ゴミ）、**黄色**（プラスチック・金属容器）

　青（古紙９、**緑**または**茶色**（生ゴミ）

の４色に分けられ、残余ごみのみが有料。



　分別を徹底して残余ゴミを減らすほど、処理費用を節約できる。

その他のアジアの国々…



フィリピン…燃えるか・燃えないかではなく、
「**土に戻るか（生分解性）**」が基準。
ゴミの日といった、曜日ごとに細かい指定は無く、道路沿いの容器にまとめて出すことが多い。
焼却は禁止されており、基本は埋め立て。



インドネシア…一般家庭では分別回収が浸透しておらず、まとめて回収されることが多い。
多くの家庭（約５７％）で収集システムが不十分なため、自宅の敷地内で焼却している。

そしてとうとう

決定！！！！！



令和7年11月21日
青木地区
外国人合同パトロール実施！！

開催に向けた課題

管内事業所に外国人実習生のパトロール参加依頼

具体的に言うと…

事業所が外国人実習生をパトロールに参加させるとなっても本人達のみを参加させるわけにはいかないため、**会社の責任者**もパトロールに参加していただく必要があり、会社の都合を確認する必要がある。

…実際に行ってみたところ



地域住民からは…
「どんな人間が住んでいるのか話しをすることができてとても良かった。」
外国人参加者からは…
「日本のルールが学べて良かった。なによりパトロールという機会がなかったので貴重な体験ができた！」



良好点

★市役所や県防犯協会を巻き込んだ活動

　基本的に警察のみでできることは限られており、それは市役所にしても防犯協会にしても同じこと。

　大事なのは日頃から連絡を取り合い協力体制を作っておくこと。

　そこに地域防犯ボランティアの皆さんの協力が加わって初めて大きな活動になる。



★外国人稼働者との付き合い方

今後日本は外国人共生が進み外国人の割合は増えていく見込みであり、外国人稼働者は増加傾向にある。

外国人は**「お客さま」ではなく「地域社会の一員」**として捉える。

そんな外国人稼働者を防犯活動に繋げてくれる**管内事業者とも、良好な関係を構築しておくことが大事**。

その後の富津警察署の取り組み…

○ **令和7年11月25日　於富津市役所**
自主防犯団体同士の意見交換会

～開催の経緯～

富津管内では、現在地域ボランティア団体として8団体が登録、活動しており、それぞれが独自で防犯活動を実施している。

また以前より、「他の団体が、どのような取り組みを行っているか分からない。」という意見があったため開催する運びとなった。



地域防犯ボランティア団体へ
青色誘導灯の贈呈（令和8年8月6日）





● 富津警察署において、管内で活動する防犯パトロール隊8団体の代表者等を招き千葉県防犯協会の協力を得て購入した、青色誘導灯80本を贈呈させていただきました。
この取り組みは広く新聞でも取り上げていただきました。



自主防犯団体にLED誘導灯

富津署で贈呈式

富津署は、防犯パトロール用資機材として青色LED誘導灯計80本を富津市内の自主防犯団体に贈呈した。

市内では「自分たちのまちは、自分たちで守る」をモットーに八つの自主防犯団体が防犯パトロールを継続している。

青色LED誘導灯は防犯パトロールの際に使用することで活動中であることを周囲に示し、住民への安心感を与えるとともに犯罪抑止を図るのが狙い。「地域防犯ボランティア活動活性化事業」の一環として千葉県防犯協会が用意し、富津署から自主防犯団体へ贈呈している。

同署で行われた贈呈式には、高橋恭市市長や防犯協会関係者らが出席。三嶋和生署長が、各団体の代表者に青色LED誘導灯を10本ずつ贈呈し、地域の連帯による防犯ボランティア活動活性化事業を起こさせない環境を期待した。（岡田

自主防犯団体への青色LED誘導灯の贈呈式＝富津署提供）

ト「CO-FIELD KIMITSU」（QRコード）を開設した。問い合わせ先は企画政策部ボールパーク推進課☎0438-23-1719。（写真は「CO-FIELD KIMITSU」の表紙の君津市広報8月号）

防犯パトロール資機材

安全のまちへ、『青色LED誘導灯』を

富津警察署 八自主防犯団体に寄贈

富津警察署（署長・三嶋和生）は六日、市内の自主防犯団体八団体に対し、『防犯パトロール用資機材・青色LED誘導灯』の寄贈を行った。



寄贈された誘導灯は一団体に対し十本、計八十本。

富津署内・訓授室で行われた贈呈式には、高橋恭市市長、千葉県防犯協会、富津市防犯協会、市職員、市内各自主防犯団体代表などが出席。

三嶋署長から防犯団体の代表にそれぞれ贈呈され、各団体代表は、安全・安心な生活環境構築への決意を新たに、更なる活動の展開を期した。

席上、三嶋署長・高橋市長は、日頃からの防犯パトロール活動に深く敬意を表し、今後も一層の理解と協力を願った。

千葉県警は、令和七年十月から公益社団法人千葉県防犯協会に委託して、「地域防犯ボランティア活動活性化事業」を開始している。

しかし、近年の少子高齢化などの社会情勢の変化による自主防犯団体の現状を考慮しつつも、その活動を将来にわたり持続可能なものとするため積極的に支援していくことを目的に、その一環としてこのほど、富津市内の自主防犯団体へ、防犯パトロール用資機材の贈呈が行われたもの。

青色LED誘導灯は、防犯パトロールを行う際使用することで、防犯活動実施中であることを周囲に示し、住民に安心感を与えるとともに、犯罪を行う者に対し、警戒されていることを認識させ、犯罪抑止を図る。

富津市内には、「自分たちのまちは、自分たちで守る」を合言葉に、ボランティア精神のもと、市内八地域で、八団体の自主防犯団体が組織され、防犯パトロール等を積極的に行っている。

（写真は署長や市長と防犯パトロール用資機材を持つ八団体の皆さん）

プロの落語家から学ぶ

富津市立図書館 こども落語講座

～プロの落語家さんから楽しく学ぼう！～

富津市立図書館（イオンモール富津三階）は、今月二十七日（木）、「こども落語講座」を開講する。事前申込制。

講師は落語家の月の家小圓鏡（つきのやこえんきょう）さん。

内容は「落語ってなぁに？」（落語の歴史、楽しみ方）、「落語の所作」（そばを食べるしぐさ、扇子の使い方など）、寿限無など「有名なお話に挑戦！」「高座デビュー？」（本物の落語家さん気分が味わえちゃうかも）。

対象は図書館カードを持っている小学三年生～中学三年生（小学生は父兄同伴必須）。

同モール三階のコミュニティホールで午前十一時～正午と午後一時～二時の二回開講。受付は各回三十分前に図書館で行う。

定員は各回二十人。申し込みは図書館カウンター、または電話で。申し込み・問い合わせは同館☎〇四三九―二九―七五一四。

伊勢海老・鮑・蟹料理承ります
四季味宴席 たく
木更津市東中央2-11-1
TEL0438-22-4488

印刷のことなら
京葉印刷
江川三五九―二
電（41）8625

そして待望の…


令和8年8月8日（土）於イオンモール富津
防犯パトロール
防犯パトロール
防犯パトロール
49回富津
るさとまつり
第2回外国人合同パトロール開催

開催の背景…

　この日は毎年イオンモール富津で開催される「富津市市民祭り」の開催日。

　富津警察署は毎年、祭り終了後に、少年補導員の協力を得て、少年対策（い集少年などに対する声かけ、補導活動）を実施していた…



　そこで……

防犯パトロール隊に声をかけた…

富津市役所にも声をかけた…

少年ボランティアにも声をかけた…

そうしたら外国人稼働者も参加させてくれた…

そこで考えてみた…

せっかくなので日本の良いところを
少しでも感じてもらいたい…

日本には昔から「使う前よりきれいに」という美しい文化がある…



せっかくなら日本で働く外国人にもその考えを知ってもらいたい…







パトロールをしながら会場のゴミを拾った…





別に自分たちが散らかしたゴミではないし、ゴミを拾うのも正直「ついで」である…

ただその「ついで」が誰かの目にとまって…

小さな「ついで」のバトンがいつか別の誰かに渡れば…

そういった小さな「バトン」のリレーが誰かの「ありがとう」になる…

それが

「地域と共に生きる」

なのだと思う…

皆さんがやっている防犯パトロールも一緒だと思います…

安全とは数字で出るものではないし、皆さんが日々行っているパトロールや登下校の見守り活動…

活動としては「小さいこと」かも知れないけれど、その「小さい活動」こそが必ず誰かの

「小さなバトン」

になって、誰かの

「ありがとう」

に繋がると思います…

少なくとも、我々1万２千人の千葉県警察官は皆さんの活動を心強く思っているいるし、少しでも自分たちが住む地域の役に立ちたいと思い行動する、皆さんの気高き精神を誇らしいと思っています…



小さなことを重ねることが
とんでもないところに行くただ一つの道

イチロー

今は地域防犯ボランティアの「高齢化」や「なり手不足」が問題となっています。

我々警察官も皆さんの活動の一助の力となれるよう邁進してまいります。

最後に…

今年は全国で災害が多く発生しており、千葉県では８月の千葉豪雨や台風２６号による風水害被害。

千葉市や大網白里市、佐倉市等の広い範囲で浸水被害が発生し、富津市においても大規模な土砂崩れがおきました。

また全国で見れば熊本地震や能登半島地震等、今もなお市民生活に多くの影を落としています…

　地域防犯ボランティアの皆様におかれましても、ご無理をなされませんよう、くれぐれもお体に気をつけてお過ごしください。



最後は県警マスコット「シーポック」と「ふっつん」の夢のツーショットです…



ご清聴ありがとうございました。